

分野	補完的な道路の整備		事業番号	86	事業名	県単道路改築				
市町村名	松本市	ふりがな箇所名	(一) 惣社岡田線		あらい新井	事業年度	H25 年度～	H27 年度		
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	全体	道路拡幅工 L=140m W=6.0(7.5)m			130,000	国庫	その他	県債	一般財源	
	H25年度	用地補償 1式			2,000			1,800	200	
箇所評価	区分	評価項目・指標等			評価			ランク	評点	
	必要性 (30)	計画交通量	<input checked="" type="checkbox"/> 4,000台/日以上	<input type="checkbox"/> 1,500台以上～10,000台/日未満	<input type="checkbox"/> 1,500台未満	B			4	
		代替道路	<input type="checkbox"/> 唯一の道路である	<input checked="" type="checkbox"/> 代替となる道路がある						0
		ネットワーク (道路網)	<input checked="" type="checkbox"/> バス路線である	<input type="checkbox"/> B 駅やICなどに通じるまたは役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線	<input type="checkbox"/> A 及びBに該当しない					5
			<input type="checkbox"/> ボトルネック箇所	<input checked="" type="checkbox"/> ボトルネック箇所でない						0
		各事業特有の必要性(安全の確保)	<input checked="" type="checkbox"/> 観光地に通じる道路	<input type="checkbox"/> 観光地に通じる道路ではない						2
			<input checked="" type="checkbox"/> 4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)	<input type="checkbox"/> 4.0m以上5.5m未満(幅員)	<input type="checkbox"/> 5.5m以上(幅員)					6
		<input type="checkbox"/> 自動車と自転車・歩行者との分離を図る	<input type="checkbox"/> 歩道はあるが不十分であるものを再整備	<input checked="" type="checkbox"/> 自動車と自転車・歩行者との分離がなされていない	0					
	他事業との関連	<input type="checkbox"/> 河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施			0					
	小 計							17		
	重要性 (10)	設計上の環境・景観配慮	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮がされ現実性が高い	<input checked="" type="checkbox"/> 環境・景観配慮がされているが現実性が低い	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮をしていない	C			3	
		地域の法的な位置付け	<input type="checkbox"/> 緊急輸送路(1次)に位置付けられている	<input type="checkbox"/> 緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地質防災対策強化地域、国土整備実施計画認定地域に位置付けられている	<input checked="" type="checkbox"/> 特別な位置づけはない				0	
		小 計								
	効率性 (20)	費用対効果	<input checked="" type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0以上	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満(3便益以外の観点から一定の効果が得られる)	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満	B			5	
		事業効果の早期発現(H25以降降事業年数)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業年数 3年以内	<input type="checkbox"/> 事業年数 4年～5年以内	<input type="checkbox"/> 事業年数 6年以上				8	
コスト縮減		<input type="checkbox"/> 全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	<input type="checkbox"/> 部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	<input checked="" type="checkbox"/> コスト縮減はしていない	0					
小 計									13	
緊急性 (20)	安全性の向上	<input checked="" type="checkbox"/> 交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の危険がない	A			10		
	各事業特有の緊急性(医療・福祉)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)	<input checked="" type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携に関係ない道路				6		
	小 計									16
計画 熟度 (20)	地域からの要望	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の内発的な要望が強い	<input type="checkbox"/> 市町村からの要望	<input type="checkbox"/> 特に要望がない	A			7		
	事業情報の共有	<input type="checkbox"/> 関係者以外に広く周知	<input checked="" type="checkbox"/> 関係者中心に周知	<input type="checkbox"/> 特に周知していない				5		
	住民参加の状況	<input type="checkbox"/> 住民が計画策定に直接参加	<input checked="" type="checkbox"/> 住民や市町村の意見を計画策定に反映	<input type="checkbox"/> 特に住民意見は反映していない				4		
	小 計									16
費用対効果(B/C)		1.4	評価の合計			B	65			
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該箇所は、道路構造令の基準を逸脱する線形であり、また家屋が視距の妨げとなり、普通自動車のすれ違いも困難である。またバス路線であり、かつ市街地から観光地への路線であるため大型バスの通行量も多く、通過交通の円滑化及び沿線住民の安全確保のため早期事業着手が望まれている。								
	地域からの要望経緯	複数の地元町会合同で開催する県や市への要望会(山辺地区開発促進協議会)で、毎年要望が上がっている。								
	事業説明等の経緯	H24年6月地権者説明会実施。								
	環境・景観への配慮項目	構造物ではなく、土羽構造による緑化を図り環境へ配慮。								
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。								
	特記事項	松本市役所と調整を図りながら、計画を策定していきたい。								
地域の合意形成		<input type="checkbox"/> 全員賛成	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね賛成	<input type="checkbox"/> 過半数賛成	<input type="checkbox"/> 動向不明					
部意見	観光路線であるとともに、地元の要望も強く、生活道路としての安全確保と交通の円滑化を図るため、H25年度から事業を実施したい。			行政改革課意見	緊急性が認められる。					